

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。  
 こどもたちは夏休みまっただ中。いかがお過ごしでしょうか。  
 私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、  
 今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。  
 メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、  
[oishiikyusyoku@gmail.com](mailto:oishiikyusyoku@gmail.com) まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

- 1 団体会員紹介① 奈良県農民連
- 2 イベント情報

■ 1 ■ 団体会員紹介① 奈良県農民連

きゅうしょくカンガルー！立上げ前から、中心となって活動を引っ張ってくださっている、奈良県農民連の森口さんと、水井さんにお話をうかがいました。

奈良県農民連は、1988年に前身の「奈良の農業と農民経営を守る会」として発足。主な業務として農家のサポートと、消費者との橋渡しを行っています。農家のサポートとは、営農指導、確定申告指導、販路の確保などから、婚活パーティまで！経営から生活まで専門家や組合員同士の協力でサポートをしています。消費者との橋渡しとしては、農産品の直売・産直、収穫体験、家庭菜園指導、加工品の販売など。現在、直売・産直として300ヶ所以上に納品しているそうです。そしてさらに「運動団体」として、農業や食の安全を脅かすことにははっきりと反対の立場で「もの申す」ことも大切な活動のひとつです。以前中国の冷凍ハウレン草などに高濃度の残留農薬が含まれていたことをスクープし、厚生労働省には是正させたり、世界の農業をつぶすTPPにもしっかりと反対しています。

農民連では、有機栽培や自然栽培など、いのちの循環や環境によい方向を向いてはいますが、例えば「全員が有機栽培をすべき！」というふうには考えていません。ひとつの考え方を押しつけるのではなく、組合員である農家のものづくりの

方法を尊重しています。その根底にあるのは、「農業を続けてほしい、やめずに頑張してほしい」という思いです。農業は素晴らしく、やりがいのある仕事ですが、実際のところ自然相手の大変な仕事です。地域を守る農業を志した人が挫折してやめてしまうのはもったいないこと。だから組合員それぞれの「続けられる」やり方をサポートします。その上で、健康な土作りや安全な資材の共同購入・勉強会など、全員が安全で持続可能な農業が出来るようにするための取り組みを行っています。

新規就農者が頑張っているという情報を得ると、自ら出向いて会いに行きます。新規就農者の中には、ほとんど横のつながりがなく、農業を初めてみたものの相談できる人もいない、販路もない、という状況の方もいるそうです。そんな人が農民連の組合員になってくれば、横のつながりができる、具体的に悩みがあるならサポートできる。また、新しい人が入ってくれば、既存の組合員にとっても元気や刺激がもらえるという側面もあります。農家のためにできることは何でもしたいという熱い想いと、仲間が増えることで助け合う力がより大きくなるという組織力が、農民連の原動力なのだと感じました。

また、組合員の自主的な活動が活発なことも特長です。土壌分析や作物の硝酸態窒素測定ができる分析室を持っているのですが、その室長も一組合員の農家なら、税金学習をサポートする税金対策部会でも組合員が活躍し、堆肥舎では組合員が講師になって講習会が開かれています。組合員が得意分野を生かして、自主活動的にお互いサポートしあう関係ができています。事務局の仕事は一方通行の「サービス」を行うことではなく、「どれだけ組合員の力を引き出すか」だと話すお二人の表情が、現在の活動の充実ぶりを表しているようでした。実際、これだけ多岐にわたる業務を幅広く行っているのは全国の農民連の中でも奈良の特徴で、県外からの視察も多いそうです。

いま、農家だけでは農業を守っていけない、とつくづく感じているそうです。消費者と農家と一緒にやっていかないと必ず行き詰まる。そういう思いで、きゅうしょくカンガルー！にも参加して下さっています。例えば給食にしても、農家だけで「給食に地元農産物を使ってほしい」と言えば利益目的だと思われてしまう。でも、消費者である子どもたちや保護者が「地元の顔のみえる農産物を使ってほしい」と言ってくれたら、進み方が全く変わってくる。同じ未来を夢見る農家と消費者が、手をとって一緒に行動することで、大きく進んでいくことができる。そのことは実際に運営に関わる「大和郡山子どもの食を考える会」で、今年給食に納入したジャガイモ、玉ねぎの量が今年の2倍、さらには秋にかぼちゃも納品できるかも

しれないというところまで活動が広がっていることでも裏付けられています。

売る側と買う側は、今まで切り離されてきました。しかし、ひとつの農産物が、だれがどのように、どんな思いで作られ、誰がどのように、どんな気持ちで食べているのか、それが自然の中で、社会の中で、どのような位置づけになるのか一本の線につながる、そんなダイナミックなことが、奈良県農民連の日常の中に淡々とあるのだなあと感じました。

森口さんに給食の思い出をお聞きしたところ、「小学校3年生の頃から給食が始まったものの、脱脂粉乳がまずくて・・・日によってまずさに種類があってね、砂のようなまずさの日、粘土のようなまずさの日・・・」とおっしゃるのには笑ってしまいました。でも、お昼ご飯を食べられない子もいた時代なので、まずくても必ずごはんが食べられることは有り難いことだったとお話してくださいました。

給食をお腹いっぱい食べられること、新鮮で安全な給食であること、食はいのちだと感じられる内容であること・・・。きゅうしょくカンガルー！の活動目的である「おいしい給食&ほんとうの食育」目指して、一緒に活動を続けていきたいと思っています。

---

## ■ 2 ■ イベント情報

---

◇菌ちゃん先生と畑の土作りワークショップ

日時：2015年9月5日(土) 14:00～17:00

場所：奈良県立高円高校付近の畑

詳細：<https://www.facebook.com/events/1594019740860316/>

◇こころとからだをはぐくむ子どもの給食（講演会）★チラシ添付しています★

日時：2015年9月6日(日) 10:00～16:00

場所：王寺町地域交流センター リーベルホール

詳細：<https://www.facebook.com/events/492371214272469/>

※ こころとからだをはぐくむ子どもの給食（講演会）開催運営へカンパをお願いします。1口500円 何口でも！お名前を講演会当日資料等に掲載させていただきます（掲載不可の方はきゅうしょくカンガルー！事務局までご連絡ください）。  
振込先：ゆうちょ銀行 14500 — 25503431 奈良の学校給食を考える会 まで。

◇きゅうしょくカンガルー！交流会

日時：2015年11月21日(土) 13:30～15:30

場所：コープ自然派奈良 事務所 組合員活動ルーム

詳細：後日お知らせします。ぜひ日程空けておいてください。

---

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元：きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）

E-mail：oishiikyusyoku@gmail.com

facebook：<https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

（メルマガのバックナンバーも順次掲載しています）

事務局：生活協同組合コープ自然派奈良内（奈良市今市町40-1）

---